

（信徒説教者課程）

聖書解釈実践

1. 目的

- ・受講者は、礼拝説教の奉仕を行うことができるようになるための聖書解釈を実践的に学ぶ。

2. 進め方

- ・聖書解釈基礎（前期）テキスト「聖書を正しく読むために」を参考にしつつ、配布するレジュメに基づいてレポートを作成する。

3. テキスト／参考文献

（テキスト）

- ・特になし（必要に応じてレジュメを配布する場合がある）

（参考文献）

- ・聖書を正しく読むために〔総論〕—聖書解釈学入門
ゴードン・D・フィー、ダグラス・スチュワート著、和光信一 訳、関野祐二監修
- ・文学ジャンル別聖書の読み方ガイド
関野祐二著（いのちのことば 2008年3月号～2010年8月号掲載）
2019年8月29日閲覧（<http://wlpn.or.jp/inokoto/2016/04/26/文学ジャンル別聖書の読み方ガイド-新連載-第1/>）

4. 課題等

（課題）

- ・課題は、一ヶ月に一つである。
- ・A4三枚以内（これは最大枚数であり、二枚になっても問題ない）。
- ・課題の内容と提出期限については、7. スケジュールを参照。
- ・参考文献を用いた場合は必ず明記すること。
- ・課題で重要なことは、講師の意見と類似しているかどうかではなく、内容が論理的に構成されているかである。
- ・提出期限を過ぎること、指定枚数を越えることは減点対象となる。

（スクーリング）

- ・後期の期間中に4時限行う（DVD録画を行い、欠席者に対応する）。
- ・実施日は11月30日（土）、2月22日（土）（各2時限）の予定だが確定ではない（後日連絡）。

5. 提出先

- ・担当者のE-mailアドレス phi411.mitsuru@gmail.com

6. 評価

（課題）

16 %／回 × 5回 = 80%

（スクーリング）

10 %／回 × 2回 = 20%（出席あるいは視聴）

	基準	（対応採点）
A, A-	学習の期待値よりも優れている	90-100
B+, B, B-	学習の期待値に達している	80-89
C+, C, C-	学習の期待値に達していない	70-79
D	学習の期待値から非常に劣る	60-69
F	単位を与えることができない	0-59

7. スケジュール

（後期 10 月 15 日始業）

<p>11 月</p>	<p>（課題 1） 「書簡①」（前期テキスト 3 章 4 章参照）</p> <p>エペソ書の例にしたがって、コロサイ書で同様のチャートを作成せよ。 （いずれかのアウトライン、梗概を用いた場合は引用元を明記すること、ただし引用して作成した場合、評価は 12%以下とする）</p> <p>提出期限 11/16（土）</p>
<p>12 月</p>	<p>（課題 2） 「書簡②」（前期テキスト 3 章 4 章参照）</p> <p>ピリピ書の例に従って、コロサイ人への手紙で同様のレポートを作成せよ。</p> <p>提出期限 12/14（土）</p>
<p>1 月</p>	<p>（課題 3） 「旧約聖書の物語文」（前期テキスト 5 章参照）</p> <p>出エジプト記の十の災いについて、杖の場面と第一の災いの場面を例として表を完成させ、一連の物語における魔術師の役割について考察せよ。</p> <p>提出期限 1/11（土）</p>
<p>2 月</p>	<p>（課題 4） 「福音書」（前期テキスト 7 章 8 章参照）</p> <p>イエスとともに十字架につけられた人物について、マルコ 15:22～32、ルカ 23:32～43 における記述の類似点と相違点を列挙し、相違点に着目する意義を考察せよ。</p> <p>提出期限 2/8（土）</p>
<p>3 月</p>	<p>（課題 5） 「詩篇」（前期テキスト 1 1 章参照）</p> <p>前期テキスト（P354～P357）と同様に詩篇 32 篇を区分せよ。また、用いられている文学手法（例えば P320 の同義平行法等あるいは擬人法、倒置法、隠喩など）があれば、それらを指摘し、その意義を考察せよ。</p> <p>提出期限 3/7（土）</p>

（後期 3 月 13 日終業）